



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 富士興産株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5009 URL http://www.fkoil.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金丸 勇一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 松崎 博文 TEL 03 (3861) 4601
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	41,407	11.0	190	17.7	256	20.2	188	△6.0
25年3月期第2四半期	37,291	8.7	161	6.4	213	△0.5	200	△41.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 304百万円 (64.1%) 25年3月期第2四半期 185百万円 (△45.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	21.60	—
25年3月期第2四半期	22.98	—

※平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,055	7,961	46.7
25年3月期	21,631	7,831	36.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,961百万円 25年3月期 7,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期の期末配当の内訳 : 普通配当16円00銭 記念配当4円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	114,000	19.3	950	10.9	1,000	5.1	700	△40.8	80.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	8,743,907株	25年3月期	8,743,907株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	4,778株	25年3月期	4,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	8,739,129株	25年3月期2Q	8,739,398株

※平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、輸出の持ち直しの動きに加え、民間消費や設備投資などの国内需要にも回復の兆しが見え始め、景気回復の傾向がより鮮明となってまいりました。

石油業界におきましては、原油価格は、前年度下期からの円安の影響により円換算価格が上昇し、当第2四半期累計期間では前年同期を大幅に上回りました。

国内の石油製品需要につきましては、ガソリン、軽油など輸送用燃料油を除き、ほぼ全ての油種で前年同期を下回りました。製品販売価格につきましては、原油価格の上昇によるコストの増加から、前年同期に比べ大幅に上昇しました。

このような経営環境の下で当社グループは、当第2四半期末にて、昨年度スタートした3ヵ年の中期経営計画『「FK14ベストプラクティス」～さらなるCSRの実現を目指して～』の中間点を迎えました。この間、当社グループは、計画の基本方針と事業別施策に鋭意取り組むことで数値目標達成に努め、連結業績としては、ほぼ目標に沿った実績を挙げることができました。

当第2四半期累計期間におきましては、当社グループのコア事業である石油事業は、原油価格の高騰などの影響により増加した仕入コストの製品販売価格への転嫁に苦戦し、損益面では厳しい状況が続きました。その反面、子会社が営むホームエネルギー事業とレンタル事業は大幅増益となり、石油事業での減益分を上回る収益を挙げることができました。

なお、新規事業として参入を決めた太陽光発電事業につきましては、本年9月に木更津第一発電所が完成し、売電を開始しました。

この結果、当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は石油事業の製品販売価格の上昇などの影響により、前年同期比41億円（11.0%）増加の414億円となりました。売上総利益は、石油事業において前年同期を下回ったものの、ホームエネルギー事業とレンタル事業の好調により前年同期並みの1,805百万円を計上することができました。営業利益は一般管理費の削減が進んだことから前年同期比28百万円増加の190百万円となり、経常利益は前年同期比43百万円増加の256百万円となりました。また、四半期純利益は法人税等調整額が51百万円増加したことから、前年同期比12百万円減少の188百万円となりました。

なお、当社グループの主力事業であります石油事業は、冬季に需要が増加する灯油・A重油が中心であるため業績に季節的変動があり、売上高・利益ともに第1・2四半期が少なく、第3・4四半期が多くなる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

①当第2四半期連結会計期間末の財政状態

当第2四半期末の総資産は、前会計年度末に比べ4,575百万円減少の17,055百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少3,779百万円や現金及び預金の減少2,092百万円などの減少要因が、投資その他の資産の増加1,180百万円や有形固定資産の増加422百万円などの増加要因を上回ったことによるものであります。

また、負債合計は、前会計年度末に比べ4,705百万円減少の9,094百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少4,330百万円などによるものであります。

純資産合計は、前会計年度末に比べ130百万円増加の7,961百万円となり、自己資本比率は46.7%となりました。

なお、資産及び負債の減少は、主に季節的変動によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動、投資活動及び財務活動ともに資金が減少し、第2四半期末の資金残高は前会計年度末に比べ2,592百万円減少して1,200百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は350百万円（前年同期は247百万円の増加）となりました。これは仕入債務の減少額4,333百万円などの資金減少要因が、税金等調整前四半期純利益274百万円、売上債権の減少額3,779百万円などの資金増加要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は2,016百万円（前年同期は153百万円の使用）となりました。これは定期預金預入による支出1,500百万円、有形固定資産の取得による支出527百万円などの資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は225百万円(前年同期は1,184百万円の使用)となりました。これは配当金の支払額174百万円などの資金減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、概ね順調に推移しており、平成25年5月14日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,793	1,700
受取手形及び売掛金	12,432	8,653
商品及び製品	823	642
その他	975	846
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	18,013	11,831
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,341	1,341
その他(純額)	1,457	1,880
有形固定資産合計	2,799	3,221
無形固定資産		
投資その他の資産	790	1,971
固定資産合計	3,618	5,224
資産合計	21,631	17,055
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,434	6,103
未払法人税等	76	41
預り金	1,349	1,384
その他	1,092	687
流動負債合計	12,952	8,216
固定負債		
退職給付引当金	487	468
引当金	58	62
その他	303	346
固定負債合計	848	878
負債合計	13,800	9,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,527	5,527
資本剰余金	48	48
利益剰余金	2,088	2,102
自己株式	△5	△5
株主資本合計	7,659	7,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	171	287
その他の包括利益累計額合計	171	287
純資産合計	7,831	7,961
負債純資産合計	21,631	17,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	37,291	41,407
売上原価	35,501	39,602
売上総利益	1,789	1,805
販売費及び一般管理費	1,628	1,614
営業利益	161	190
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	11
固定資産賃貸料	47	46
業務受託料	29	32
軽油引取税交付金	31	29
その他	7	18
営業外収益合計	126	139
営業外費用		
支払利息	15	11
固定資産賃貸費用	17	17
業務受託費用	31	39
その他	10	5
営業外費用合計	75	74
経常利益	213	256
特別利益		
固定資産売却益	18	20
特別利益合計	18	20
特別損失		
その他	2	3
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	229	274
法人税、住民税及び事業税	26	32
法人税等調整額	1	52
法人税等合計	28	85
少数株主損益調整前四半期純利益	200	188
四半期純利益	200	188

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	200	188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	116
その他の包括利益合計	△15	116
四半期包括利益	185	304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185	304
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229	274
減価償却費	141	156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2	△18
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	2
修繕引当金の増減額 (△は減少)	2	2
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
固定資産売却損益 (△は益)	△18	△20
売上債権の増減額 (△は増加)	4,302	3,779
たな卸資産の増減額 (△は増加)	163	181
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,334	△4,333
未払金の増減額 (△は減少)	△121	△365
その他	△71	60
小計	301	△280
利息及び配当金の受取額	10	12
利息の支払額	△15	△11
災害損失の支払額	△17	—
法人税等の支払額	△31	△70
営業活動によるキャッシュ・フロー	247	△350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,500
有形固定資産の取得による支出	△172	△527
有形固定資産の売却による収入	21	24
その他	△2	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153	△2,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△623	—
長期借入金の返済による支出	△500	—
配当金の支払額	—	△174
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△14	△8
割賦債務の返済による支出	△46	△41
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,184	△225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,089	△2,592
現金及び現金同等物の期首残高	3,582	3,793
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,492	1,200

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,297	524	469	37,291	—	37,291
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	0	0	91	△91	—
計	36,388	524	469	37,382	△91	37,291
セグメント利益	115	6	39	161	0	161

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油事業	ホームエネ ルギー事業	レンタル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	40,267	551	588	41,407	—	41,407
セグメント間の内部売上高又は振替高	105	0	0	105	△105	—
計	40,372	551	588	41,513	△105	41,407
セグメント利益	71	38	79	189	0	190

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。